

やましんかわら版

やましんかわら版は
山新販売店と読者を結ぶ
ミニコミ紙です



発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

8月の休刊日はありません。

今月の
いちばん
情報!!

ママたちの社会復帰を後押ししたい! 人材派遣会社の新たな挑戦。



保育施設「まませるふ」取材時の1枚。小さなお子さんたちと保育士さんたちが、とても和やかに過ごしていました。

東根市に本社を置く人材派遣会社『(株)マイセルフ』は、今年5月に保育園『まませるふ』を開園しました。同社のこの動きは、働く意欲を持つ女性の、仕事と子育て両立の支援、そして負担軽減を図るものです。全国的に待機児童の受け皿として、企業が従業員と地域住民向けに「企業主導型保育所※1」を導入するケースが増えていますが、中でも人材派遣会社による保育事業への参入は少ないといえます。山形県内の派遣会社で初めて保育園の開園を決断した同社の松園秀樹社長に話を聞きました。

Q、なぜ、保育事業に着手されたのですか?

▶弊社は東根市を中心に県内、また宮城県や埼玉県、千葉県で人材派遣業をしています。仕事上、多くの求職者と面接を行いますが、以前より若い女性の求職者から「その時間だと働けない」「近場でないと働けない」などの声が聞こえていました。その「NG」の理由をたどってみると、彼女たちは子育て中で、ママたちは子どもを預かってくれる場所が見つからないことで、働くことを諦めようとしていたのです。

“せっかく働く意欲を持っているのに、子育てが理由で働けないのはおかしい”、“ならば、自社

で保育所を設けて、ママたちに安心して働いてもらえる環境を作ろう”。そう思い、私たちは保育事業への着手を決めました。そして、昨年11月から計画を進め、今年5月に天童市に保育園『まませるふ』を開園。ママたちが仕事と子育てを両立できる環境整備を第一と考え、こちらは弊社の派遣社員や従業員なら保育費無料としています。また、有料となりますが地域の方々もご利用いただけます。

Q、人材派遣業だから、できるということはあるですか?

▶“ご紹介できる派遣先が豊富にある”ということに尽きます。ママたちの中には、事務職が得意な方もいれば、製造業、接客業が得意な方もいます。それに応じて、派遣先を紹介できることが、一番のメリットではないでしょうか。子どもを預けて、得意な分野で活躍する。人材の適材適所を叶えながら、ママたちがイキイキと働ける環境が作り出せるという意味では、人材派遣業×企業主導型保育事業の組み合わせは、最良なのではないかと考えています。

また、今回の開園に当たっては、派遣先の企業の皆さんにも協力していただきました。ママたちの社会復帰を早めたいというコンセプトを伝え

たところ、「ぜひ派遣先として協力したい」という企業さんがたくさんありました。このような動きが民間企業発で広がれば、子育てを理由に職場を一旦離れた女性にとって、社会復帰しやすい環境が広がっていくのではないのでしょうか。

ところで、待機児童問題の原因の一つに、保育士の確保ができないことが挙げられます。それは若い保育士も同様に、子どもの預け先が無いから、『まませるふ』には、自分の子どもを園に預けながら保育士として働くママたちが数多く在籍していますが、こういった方法を取ることで、保育士不足の解消にもつながると思うのです。

Q、どんどん保育園を開いて欲しいのですが。

▶小さなお子さんを預かることは、命を預かることに他なりません。園児数に対して余裕のある保育士数の確保や、また保育園として適切な場所、建物も確保をしなければ、簡単に進めてはいけなと考えています。ただ、その上で、働きたい女性の仕事と子育ての両立、そして、社会復帰を応援するためにもこの事業を進めていきたい。年内には東根市に、その後は山形市にも保育園の開園を予定しています。関心のある方は、ぜひご連絡ください。

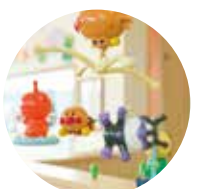
※1：保育所の柔軟な設置・運営を助成する制度。



左／取材に応じてくれた松園秀樹社長と保育事業部長の後藤修平さん。お二人とも熱心に保育への思いを話してくれました。

中／同施設に子どもを預けながら、園長として勤務する滝口桂子さん。

右／保育所「まませるふ」は、年内をめどに東根市、またその次は山形市内で開園予定とのこと。



マイセルフ

住所／東根市中央2-12-36 電話／0237-53-0886